

東紀州産業振興学舎通信

第2号



東紀州サテライト東紀州産業振興学舎って？

平成29年に地域の拠点施設である東紀州産業振興学舎を尾鷲市の天満荘内に開設しました。現在、本施設を利用して本学教職員や学生の教育・研究活動の支援を行っています。地域特産の柑橘類や林産物、水産物の活用や新規の技術開発を目指して、地域と協働できる活動を目指しています。三重大学からの情報発信、海外との連携活動などいっそう活発化できればと思います。



甘夏マーマレードを販売する学生たち

令和元年7月1日、「天満甘夏プロジェクト」甘夏マーマレード販売を行いました。尾鷲市では昭和の時代より甘夏栽培が盛んでしたが、高齢化等様々な原因により、耕作放棄地が増えている現状があります。天満甘夏プロジェクトは、学生が参加しながら、現状にあった栽培方法や新しい甘夏の利用方法などについて考え、今年度で3年目となります。

今回の取り組みでは、本学学生が収穫・製造補助した甘夏マーマレード（収穫・製造補助は昨年度）を、本学学生およびNPO法人天満浦百人会メンバーが地元スーパーマーケットと特産品店で販売しました。本学学生は地方一次産業の現状や農林水産業の6次産業化について学びました。

令和元年6月20日、尾鷲市主導の木育プロジェクト、「山育・木育・おわせ行く」の第1回に協力しました。このプロジェクトは、自然環境を生かし、森林整備を行いながら地域の良さについて児童らに伝えるプロジェクトで、宮之上小学校の3年生の児童ら14名が参加しています。児童らに、熊野古道に面する尾鷲市市有林の一部を“あそび場”に整備していく中で、山の中で注意すべきことや道具の使い方などを学び、山に親しみを持ってもらうことを目的としています。

第1回では、山での基本的な装備を身につけ現地に入り、尾鷲ヒノキに関する講義や、山道の作り方、立木の胸高直径の測り方などを学びました。

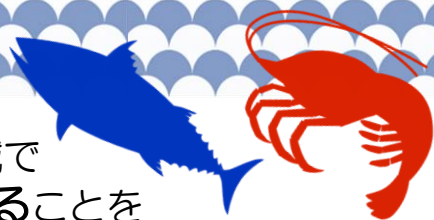


専門家から尾鷲ヒノキに関する指導を受ける児童たち

東紀州産業振興学舎はこのような事業を支援します！

区分	タイトル	主提案者	主対応者・地域
農業	紀南地域におけるアテモヤ栽培環境の計測	坂井 勝	三重県
農業	地域振興をもたらす農作物の特定のための消費者需要研究：アテモヤを事例として	中島亨	三重県
林業	尾鷲ヒノキ製品の環境影響評価による付加価値の創出	淵上佑樹	尾鷲市
林業	森林資源調査の効率化による木材生産コストの圧縮化技術について	松村直人	尾鷲市
林業	針葉樹（スギ・ヒノキ）から黄葉樹（イチヨウ葉）に植替えに応じた発酵イチヨウ葉茶の機能性の解明	西尾昌洋	大台町
林業	野地木材工業（株）における熊野地域木質バイオマス事業に関する共同研究	坂本竜彦	熊野市、野地木材工業（株）
林業	みえの林産物を活用した香りビジネスへの取り組み	中井毅尚	大台町
水産業	尾鷲沿岸海水による養殖クビレズタからの機能性成分の生産技術開発	岡崎文美	尾鷲市
水産業	ブラックタイガーの国内種苗生産に向けた調査研究	筒井直昭	尾鷲市
学生支援	地域拠点サテライト東紀州サテライト（天満荘）における天満学生プロジェクトの実施	山本康介	尾鷲市、天満浦百人会

三重大学では東紀州地域で
活躍する人材を育成することを
目的とした学舎を設置しています。



東紀州産業振興学舎

尾鷲市内で地域コミュニティの中心として利用されている
天満荘を拠点に、東紀州地域における課題等の解決に取り組んでいます。

「学生のインターンシップの拠点」、「共同研究等の実施拠点」、
「地域活動の拠点」「地域の方々とのコミュニケーションを通して相互理解を深める場」として活用

2019年度の活動

[熊野木育プロジェクト] オール熊野フェスタへの参加



東紀州地域における教育活動

令和元年5月26日、熊野の子ども達に森の役割
や地元の主要産業である林業・木材産業を伝える取
り組みとして、オール熊野フェスタでのブース出展
を行いました。この出展は今回で3年目となります。
熊野の木を使って作る「カホン（打楽器の一種）作
り体験」と、熊野林星会（熊野地域の若手林業・木
材産業従事者が作る団体）と三重大学で共同開発し
たゲーム形式の木育プログラム「セーザイゲーム」
の体験を本学学生が中心となり企画・実施しました。

東紀州サテライト研究員
山本 康介さん



山本 康介

研究員3年目の山本康介です。バイオ
マス利用に関する研究の他、“熊野木育
プロジェクト”や“天狗倉山まるごとプロ
ジェクト”など、東紀州がより良い地域
となるような活動を行っております。

台湾・嘉義大学 林教授が訪問しました！

札幌で開催された日本台湾韓国の森林資源管理に
関するセミナーの後、台湾・嘉義大学森林学部の
林教授夫妻が尾鷲を訪問し、農業遺産の森林経営
を見学しました。

林教授はリモートセンシングの専門家で、台湾でも
各種生態系調査に従事され、衛星データ解析や森林
モニタリング調査の結果から、台湾の森林の将来像
についても提言をされています。



尾鷲林業の歴史について
も関心を示され、伝統技術
の継承と貴重な森林資源や
古道景観の保全について、
意見交換しました。

NPO法人天満浦百人会代表の
松井さんと松村学舎長と
林教授夫妻

お知らせ

東紀州サテライトフォーラム

「東紀州におけるデータサイエンス」

日時：10月26日(土) 13:00～17:30 (情報交換会16:30～)

場所：熊野市文化交流センター

対象：一般、教育関係者、中高生

参加費：無料 (情報交換会は2000円 (中高生は無料!))

申込先：regional-t@ab.mie-u.ac.jp (担当：地域創生推進チーム 前田)

分かりやすい
ミニ講義
あります！

入試相談会
あります！

VR機器やドローンの
体験ができます！

三重大学東紀州サテライト東紀州産業振興学舎メンバー

東紀州サテライト東紀州産業振興学舎長 松村直人
東紀州サテライト研究員 山本康介
東紀州サテライト産学官連携アドバイザー 栗藤和治、山本浩和

<問い合わせ先>

三重大学大学院生物資源学研究科総務担当
〒514-8507 三重県津市栗真町屋町1577
Tel: 059-231-9502 Fax: 059-231-9634
HP: <http://www.rscn.mie-u.ac.jp/higashikishu/>